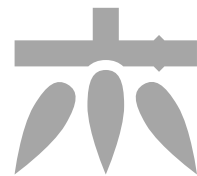


展覧会開催予定



※展覧会の名称は変更する場合があります。※()内は、20名以上の団体料金

琳派展XIII

「お江戸の琳派と狩野派－板橋区立美術館×細見美術館－」

平成22年10月2日(土)～平成23年1月16日(日)

一般1,000円(800円) 学生800円(600円)

I期 10月2日(土)～11月7日(日) II期 11月9日(火)～12月5日(日) III期 12月7日(火)～1月16日(日)

※会期中、展示替があります。

秋恒例の琳派展第13弾となる本展では、独自の視点で江戸絵画を紹介してきた板橋区立美術館のコレクションを中心に、琳派の新たな楽しみ方を提案する。

本展では、特に、板橋区立美術館が力を入れている江戸の狩野派と江戸琳派に焦点を当てていく。同じモチーフでも描く絵師(派)によって表現が異なる点や、絵師たちが得意としたテーマ、テクニクなど二つの派を比較紹介しながら、従来の琳派展では語れなかった魅力を伝えたい。

☆年末年始休館 12月27日(月)～1月3日(月)



沖一峨 花鳥図のうち
板橋区立美術館蔵 III期展示

「麗しき日本の美－細見コレクション名品選－」

前期 若冲と江戸絵画の世界

1月28日(金)～3月13日(日)

後期 琳派を愉しむ

3月17日(木)～4月17日(日)

平成23年1月28日(金)～4月17日(日)

一般1,000円(800円) 学生800円(600円)

様々な時代やジャンルを象徴する作品で構成されている細見コレクション。本展では多彩なコレクションから人気の高いジャンルを精選し、前期に若冲や北斎をはじめとする江戸絵画を、後期では華麗なる琳派の世界を紹介して参ります。また、茶の湯の道具や調度に施されたかざりもあわせてお楽しみください。

この機会に、日本美術の繊細、優美な感性が息づく麗しき日本の美をご堪能ください。

☆展示替休館 3月14日(月)～16日(水)



俵屋宗達下絵・本阿弥光悦書
忍草下絵和歌色紙「郭公」 江戸前期

陶磁器に出会うV

「開窯300年 マイセン 西洋磁器の誕生」

平成23年4月23日(土)～7月3日(日)

一般1,000円(800円) 学生800円(600円)

マイセンとはヨーロッパで磁器を初めて作った窯です。

純白の硬質な磁器を作る技術がなかった17世紀のヨーロッパでは、中国の磁器や日本の伊万里は人々の憧れでした。しかし、1710年、ドイツのマイセン王立磁器製作所において、ヨーロッパ初となる東洋の磁器とほぼ同質の「硬質磁器」を生み出すことに成功しました。

開窯300年を記念した本展では、このマイセン窯の歴史のなかでも最も栄光ある時代とされる、最初の半世紀の作品を紹介いたします。

華やかなだけでは終わらない、マイセン磁器の真髄を表した作品の数々とともに、それらを創り出した18世紀のヨーロッパ文化の特色を感じていただければ幸いです。



色絵金彩人物文鉢 1723-24年

細見美術館

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 TEL 075-752-5555

休館日 月曜日(但し、祝日の場合は翌日)・展示替期間・年末年始

開館時間 午前10時～午後6時(入館は、午後5時30分まで)

